

令和 8 年度第 1 回大船渡市学校支援活動運営委員会

日 時 令和 8 年 7 月 1 日（水） 午後 3 時 00 分～午後 3 時 30 分
場 所 大船渡市役所 教育委員会会議室
出席者 運営委員会委員 3 名
菊池康幸委員長、岡崎充博委員、菅原優子委員
大船渡市
生涯学習課：課長、課長補佐、主任
中央公民館：館長補佐

〔会議内容〕

1 開 会

2 挨 拶 課長

3 学校支援活動運営委員会委員及び関係職員の紹介

4 協 議

第 1 号 令和 8 年度大船渡市地域学校協働本部事業内容及び評価項目について
事務局より、別紙資料のとおり説明し、意見を諮った。

〈意見・質疑応答〉

【家庭教育学級、英語体験教室、青少年体験学習事業、ふるさと教育講座について】

岡 崎 委 員：会議資料 3 ページ「家庭教育学級」について、評価指標を人数としているが、全国的な少子化の中、前年比の人数で目標値を設定するのは適当ではないのではないか。

市の考え方：（中央公民館）ご指摘を受け、指標を削除することとする。

岡 崎 委 員：参考資料 3 ページ「令和 8 年度家庭教育学級 講座メニュー」について、最近のこども達は就学前からタブレットやスマートフォンを使う機会が多いと思うが、それら情報機器とうまく付き合うための内容の講座もあってよいのではないか。

市の考え方：（中央公民館）数年前まではメニューの一つとしていたが、開催場所がこども園であることから、調整の結果、近年では親子で一緒に体操、ダンスを行う、他には食育、健康といった内容での開催としている。

事業の趣旨から言えば、ゲーム依存やスマートフォン依存といった事象は家庭教育における課題の一つと捉えており、園から意向があれば対応は可能である。

今後もニーズ等の把握に努めてまいりたい。

菅原委員：会議資料３ページ「家庭教育学級「英語体験教室」」について、昨年同様の質問をしたが、評価指標「アイデアを考えたり、工夫したりするようになった」という項目について、その日英語教室を体験した年中児が、すぐにそのような行動をとることは考えづらい。具体的な設問を設定すべきではないか。

市の考え方：（中央公民館）ご意見として承る。昨年お答えしたとおり、講座の具体的な内容は、指標や設問を設定する前に確定させることができない。

菅原委員：承知した。

関連して、英語体験教室の新聞記事を拝見した。昨年同様の質問をした際、記事の校正は事務局ではできないとのことだったが、表現の正確性は大切であると考えます。記事では「保育園年中」という表現だったと思うが、「保育施設等」といった表現でなければ、実態と一致していないのではないかと。

市の考え方：（中央公民館）校正に関して相手方に細かいリクエストはできないが、ご指摘のとおり、保育園に限定した書き方とならないよう、記事掲載依頼時に要請するなど対応に努めたい。

菅原委員：英語体験教室は異文化交流を目的の一つにしているようだが、「英語を話す」ことだけが異文化交流ではないと思う。国際交流員やALTから、外国の食べ物や地理などについて聞くだけでも、異文化に興味を持ち、その中で言語への関心にも発展できれば、さまざまな視点から実施できると考える。

市の考え方：（中央公民館）事務局としても、アイデアの枯渇やマンネリ化を危惧している。ご意見として承り、今後の事業の参考とさせていただきたい。

5 その他

事務局：本日出席した委員の方々（現役の教職員を除く）には、謝金をお支払いする。

現委員は委嘱期間２年間の２年目に当たる。引き続きよろしくお願いします。これまで年３回開催していた本会議について、協議事項を整理した上で年２回の開催の方向で検討する。開催時期は、決定した際に別途お知らせする。

6 閉 会